ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザ ガイド

初版：2008 年 4 月

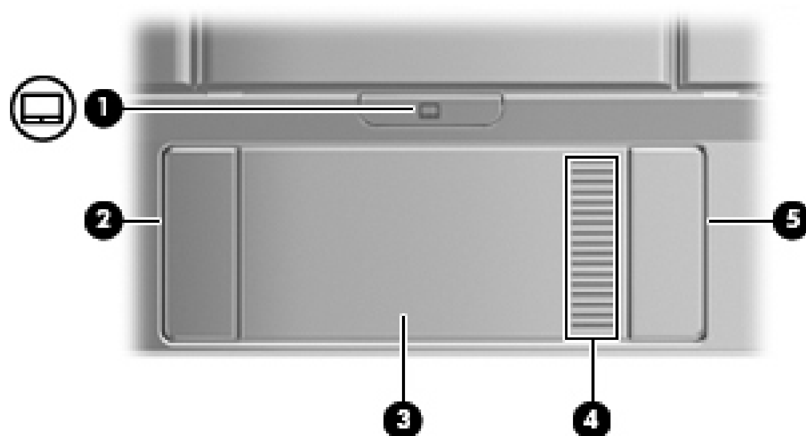
製品番号：465238-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 ポインティング デバイスの使用



名称		説明
(1)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドを有効または無効にします
(2)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(5)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
*この表では初期設定の状態について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。		

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

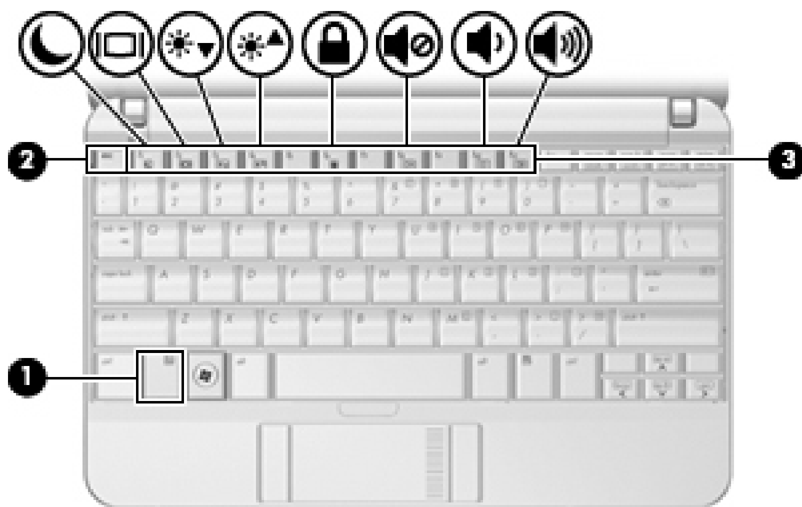
2 キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（1）と、esc キー（2）またはファンクション キー（3）の組み合わせです。

f1 ～ f4、f6、f8、f10、および f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。



機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn ＋ esc
スリープを開始する	fn ＋ f1
コンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイの画面を切り替える	fn ＋ f2
画面の輝度を下げる	fn ＋ f3
画面の輝度を上げる	fn ＋ f4
QuickLock（クイックロック）を起動する	fn ＋ f6
コンピュータの音を消したり元に戻したりする	fn ＋ f8

機能	ホットキー
コンピュータの音量を下げる	fn + f10
コンピュータの音量を上げる	fn + f11

コンピュータのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下の操作のどちらかを行います。

- fn キーを短く押し、次にホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn + esc）

fn + esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn + esc を押すと、システム BIOS（基本入出力システム）のバージョンが BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スリープを開始する（fn + f1）

△ 注意： データの損失を防ぐため、スリープを開始する前に作業データを保存してください。

スリープを開始するには、fn + f1 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始するには、コンピュータの電源が入っている必要があります。

注記： コンピュータがスリープ状態のときに完全なローバッテリの状態になった場合、コンピュータはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なローバッテリの状態になった場合の出荷時設定はハイバネーションですが、この設定は、Windows の[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源スイッチを短くスライドさせるか、キーボードの任意のキーを押します。

fn + f1 ホットキーの機能は変更が可能です。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn + f1 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn + f1 ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える（fn ＋ f2）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f2 を押します。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、fn ＋ f2 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f2 ホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f2 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニタ）

画面の輝度を下げる（fn ＋ f3）

fn ＋ f3 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f4）

fn ＋ f4 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

QuickLock を開始する（fn ＋ f6）

QuickLock セキュリティ機能を開始するには、fn ＋ f6 を押します。

QuickLock はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、Windows のユーザ パスワードまたは Windows の管理者パスワードが入力されるまでコンピュータに接続できません。

注記： QuickLock を使用する前に、Windows のユーザ パスワード、または Windows の管理者パスワードを設定する必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

QuickLock を使用するには、fn ＋ f6 を押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピュータをロックします。次に、画面の説明に沿って Windows のユーザ パスワードまたは Windows の管理者パスワードを入力し、コンピュータにアクセスします。

スピーカの音を消す（fn ＋ f8）

fn ＋ f8 を押してスピーカの音を消します。スピーカの音量を元に戻すには、もう一度ホットキーを押します。

スピーカの音量を下げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 を押してスピーカの音量を下げます。このホットキーを押し続けると、スピーカの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカの音量を上げる（fn ＋ f11）

fn ＋ f11 を押してスピーカの音量を上げます。このホットキーを押し続けると、スピーカの音量が一定の割合で徐々に上がります。

3 [HP Quick Launch Buttons]の[設定]

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面の使用

注記： ここで説明されている[HP Quick Launch Buttons]の機能は、お使いのコンピュータによっては利用できない場合があります。

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]は、以下のどちらかの方法で開くことができます。

- [Q Menu]の項目の追加、変更、および削除
- タイリングの設定

注記： [HP Quick Launch Buttons]の[設定]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてください。

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面の表示

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面は、以下のどれかの方法で開くことができます。

- **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。
- タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[HP Quick Launch Buttons のプロパティの調整]**を選択します。

注記： モデルによっては、デスクトップにアイコンが表示される場合があります。

[Q Menu]の表示

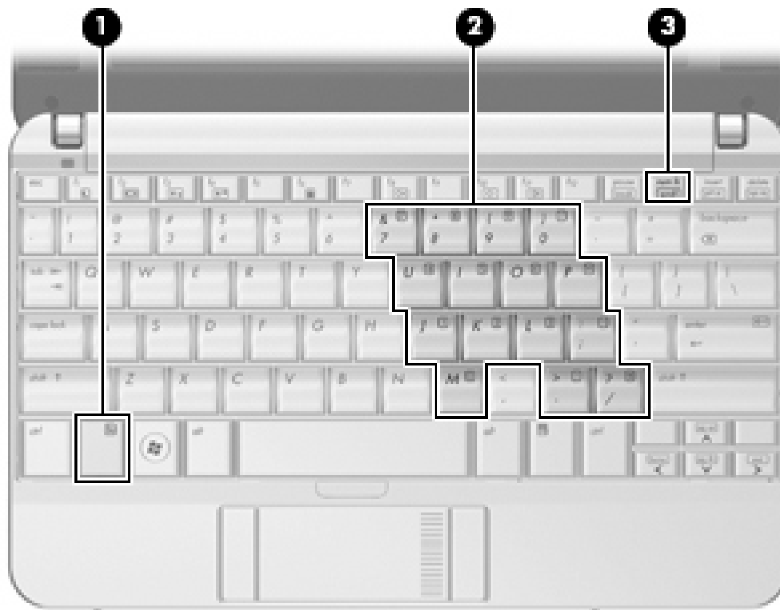
[Q Menu]では、多くのコンピュータでボタン、キー、またはホットキーを使って起動する各種システム タスクを簡単に起動できます。

[Q Menu]をデスクトップに表示するには、以下の手順を行います。

▲ **[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

4 テンキーの使用

このコンピュータにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。



	名称	説明
(1)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
(2)	内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(3)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーが有効にするには、fn ＋ num lk を押します。キーを標準のキーボード機能に戻すには、fn ＋ num lk をもう一度押します。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、fn キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の手順で操作します。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押したまま文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、num lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、num lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- num lock がオンのときは、数字を入力できます。
- num lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

作業中に外付けテンキーの num lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

5　タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！**　感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。



索引